

さつまいも

サツマイモに含まれるビタミンCは、でんぷんに守られて加熱しても壊れにくいそうです。豊富に含まれているカリウムは、塩分を排泄し高血圧に効果があります。

5月の農作業

平成15年発行：
JAハリマ「生き生き健康野菜づくり」より

作型

気温が十分上がってから植え付ける。マルチ栽培すると生育を促し、早く収穫（9月から）できる。排水の悪いところへの作付けは避ける。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
マルチ栽培					△	△	—	■	■	■	■	■	鳴門金時・高系14号・ベニアズマ

△：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	100kg
セルカ(有機石灰)	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 a当たり	
油粕	5～7kg
BMようりん	4kg
畝立時施用	

■ 苗の準備

開いた葉が5枚以上（重さ15g以上）
苗とり直後の植え付けは、強い日差しや風で弱ってしまうので注意する



- 1条植え：畝幅70～80cm
株間：30～40cm
(植え付け時は葉は埋めない)
- 雑草防止に黒マルチを利用しても良い

〈苗の植え方〉



〈水平植え〉
いもの数…多い
肥 大…遅い



〈斜め植え〉
いもの数…やや多い
肥 大…早い



〈直立ざし〉
いもの数…最も少ない
肥 大…最も早い

中耕・土寄せ

- 6月中下旬頃に畝間を軽く株元に土寄せする。(いもの肥大に効果がある)

防除

病害虫名	耕種的防除	薬剤防除
コガネムシ類	未熟有機物の施用は避ける	ダイアジノン粒剤 5 400～600g/a 3日前まで5回以内
イモコガ アブラムシ類	ふ化直後の幼虫を除去する	スミチオン乳剤 1,000倍 7日前まで5回以内

収穫

- 4～5日晴天が続いた日を選んで、いもに傷がつかないように掘り取る。

貯蔵

- 温度13℃、湿度80～90%が理想の条件である。
- 部屋の中で貯蔵する場合は、モミガラを入れた発泡スチロール箱などに入れ、ふたには空気穴を開けておく。モミガラがない場合は一つひとつ新聞紙にくるんで入れる。

オオイヌノフグリ

畑、路傍、畦畔に多く生育し、畑の周縁部や道端によく見られる。寒さに強いが日当たりのよい立地に多い。種子で繁殖する冬生一年草本。10月上旬頃から出芽を始める。出芽は秋から冬にかけて多く、翌春から夏にかけても続く。1～6月頃に開花結実する。全体に軟毛を散生し、茎は基部で枝分かれして地上を這い、長さ10～35cmになる。茎上部の葉腋に1個ずつ瑠璃色の花をつける。子葉は広卵形で先はやや円く無毛で長柄があり、胚軸には短毛がある。葉柄は長く、葉縁、表裏とも白毛がある。

防除のポイント

作物の作付け前に出芽した固体は耕起で防除する。中耕の効果も高い。除草剤で容易に防除できる。生育が進むと引き抜きにくくなるため、小さいうちに防除する。作物の生育後に出芽した固体は早春に手取りを行う。後期に出芽した固体を放置すると、四方に茎が広がり、除草に労力を要する。



瑠璃色の花をつけるオオイヌノフグリ



オオイヌノフグリ(芽生え期)



オオイヌノフグリ(生育初期)

スイバ

里山、草地、堤防や路傍などに、よく似た仲間(同属)のギシギシとともにごく普通に見られる。草丈50cm～1mにもなる雌雄異株の大型多年草。茎を直立させて上部で分枝し、夏から初秋に小さな花(果実)を円周状に多くつけた細長い円錐塔状の花(果)穂を伸ばす。雌株の花穂が、赤っぽく熟すのが特徴のひとつで、若い葉や茎は紫紅色を帯びる。葉は、根生葉(地際の葉)には明らかな柄があるが、茎の上部の茎葉は茎を抱く。花穂に葉が付くのも特徴のひとつ。葉の長さは10cm前後、幅は3cm前後で、葉の縁は波打つ。

防除のポイント

ギシギシ類の根は太く地下深くまで伸びているため人手で掘り取るのには労力を要するが、トラクターによる耕起が可能な場所では、丁寧な耕起を短期間に複数回行うことで栄養体からの発生を効率的に防ぐことができる。一方、刈取には強く、何度でも再生してくるため頻繁な耕起が行えない場所では除草剤を用いた防除が有効となる。



花穂を伸ばしたスイバ



スイバ(ロゼット)



スイバ(生育中期)